



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、代表取締役役に就任しました高橋でございます。新たなる成長を目指し、役員、従業員一人ひとりが力を合わせ全力を尽くして参りますので宜しくお願い致します。

ここに当社第90期の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

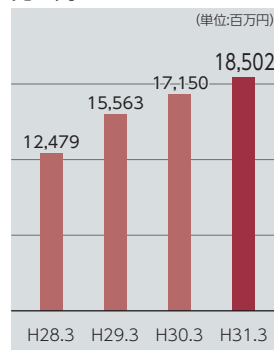
令和元年6月



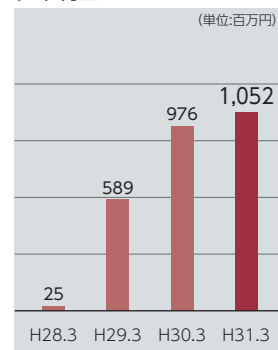
取締役社長 高橋 裕

財務ハイライト

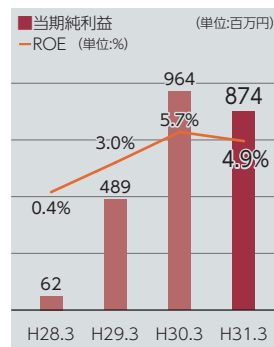
売上高



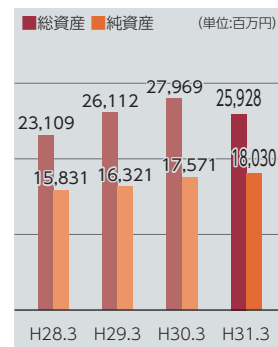
経常利益



当期純利益・ROE*



総資産・純資産



*ROE: Return On Equityの略。自己資本利益率ともいい、当期純利益を、自己資本で除したものの。

第90期 株 主 通 信

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

 高田機工株式會社

証券コード: 5923

当事業年度の事業概況

当事業年度におけるわが国経済は、夏場の相次ぐ自然災害の影響を受けながらも、企業収益や雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調を迎えました。しかしながら、米中貿易摩擦の長期化や不安定な欧州情勢による海外経済の減速に伴い輸出が低迷し、年度末にかけては弱含みの動きとなりました。

橋梁事業におきましては、新設鋼橋では年度初めに高速道路会社から大型案件の発注が続いたものの、年間発注量はここ数年ほぼ横這いの状態が続いております。一方で保全・中大規模改築工事の発注は増加を続け、橋梁需要は鋼橋の新設から既設鋼橋の保全・改築に重点が移っております。鉄構事業では鉄骨需要は依然首都圏中心ながら高水準を維持し、東京五輪終了後も継続して需要が見込まれる大型案件が進行しております。さらに全国的にも再開案件が始動し、大阪万博の誘致決定を受けて関西圏でも大型案件の出件が近づいております。

このような状況のもとで当社は、橋梁事業では技術提案力の強化と入札価格の精度向上により受注案件を積み上げましたが、当事業年度の受注高は順調だった前事業年度の実績を大きく下回る結果となりました。鉄構事業においても、目標案件の成約には至らず前事業年度に引き続き低調な結果となりました。

これらの結果、当事業年度の受注高は堅調に推移した前事業年度を大きく下回る結果となりました。

損益面につきましては、前事業年度末の受注残高を背景に、年間を通じて橋梁工場は高い操業度を保ち現場施工も順調に推移したことに加え、設計変更による契約金額の増加もあり、橋梁事業の採算は前事業年度から更に改善いたしました。鉄構事業も売上高は減少したものの、セグメント利益は前事業年度を上回ることができました。

売上高	185億2百万円 前期比 7.9%増	
	橋梁事業 151億93百万円 16.3%増 鉄構事業 33億8百万円 19.0%減	
経常利益	10億52百万円 前期比 7.7%増	
当期純利益	8億74百万円 前期比 9.3%減	
受注高	111億32百万円 前期比 45.0%減	
	橋梁事業 98億25百万円 46.1%減 鉄構事業 13億6百万円 35.3%減	
受注残高	188億49百万円 前期比 28.1%減	
	橋梁事業 167億85百万円 24.2%減 鉄構事業 20億64百万円 49.2%減	

今後の見通し

橋梁事業では新設鋼橋の発注量は、高速道路の暫定2車線区間の4車線化等により当面は横這い状態で推移すると思われる。一方、保全・中大規模改築工事の発注は今後も更に増加することが予想され、橋梁事業全体として需要は堅調に推移すると思われる。当社におきましては、新設鋼橋の受注確保を最大の目標としつつも、年度方針に掲げた「保全事業への挑戦」の実施に向けての体制確立を急ぎ、橋梁事業の需要の変化への対応を進めてまいります。

鉄構事業では鉄骨需要は今後も堅調に推移すると見込まれます。首都圏での大型再開案件は東京五輪終了後も継続し、需要の中心であり続けられると思われ。また、関西圏においても少しずつ大型再開案件の出件が始まっております。一方で需要の伸びに対する供給能力の問題が指摘されており、大型化する

物件規模に対応するSグレードファブリケーターの対応能力が大きな焦点となっています。当社におきましては、鉄構工場の生産設備を見直す一方で、協力会社との関係も強化を図り、堅調な需要に対応できる生産体制の構築を進めてまいります。

関西に本社と生産拠点を構える当社には、今後も厳しい事業環境が継続しますが、当社の業績はここ数年着実に回復基調を迎えました。当事業年度の受注が低調に推移したことで、新年度は減収減益の業績予想となりますが、新年度の4つの年度方針「飛躍に向けた受注と利益目標の達成」「企業責任としての品質向上・安全確保・環境負荷低減」「未来に繋ぐ保全事業への挑戦と独自技術の推進」「生産性向上を目指した経営資源の充実と人材の育成」を着実に履行することで、働き易く魅力ある職場環境の実現を目指しつつ業績の改善に向け、全社一丸となり取り組んでまいります。

橋梁事業

主な売上工事

中部地方整備局・春田北地区高架橋、
鳥羽川高架橋、中日本高速道路(株)・
向畑高架橋、関東地方整備局・行徳
橋上部工事

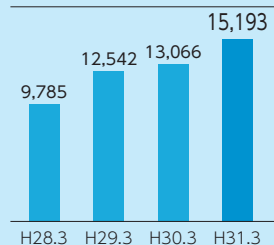
主な受注工事

中部地方整備局・須走3号高架橋、
新大井川橋、西日本高速道路(株)・阪
和自動車道 南部川橋他1橋、近畿
地方整備局・忌部地区他鋼製橋脚

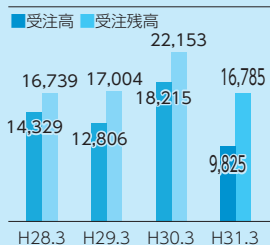


向畑高架橋 (中日本高速道路(株))
(神奈川県伊勢原市 当社施工分3,092t)

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



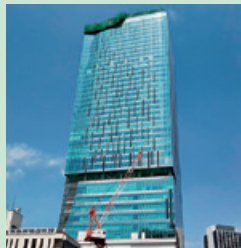
鉄構事業

主な売上工事

大成建設(株)・豊洲二丁目駅前地区市
街地再開発、川田工業(株)・渋谷駅街
区東棟

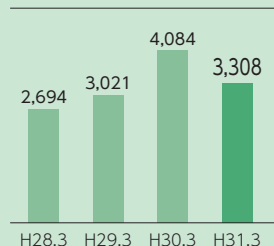
主な受注工事

大成建設(株)・玉屋ビル新築工事、豊
洲二丁目駅前地区市街地再開発

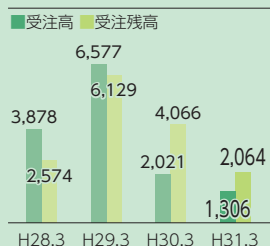


渋谷駅街区東棟新築工事
(東京都渋谷区 当社施工分4,559t)

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



株式の状況

(平成31年3月31日現在)

発行可能株式総数 6,560,000株

発行済株式の総数 2,237,586株

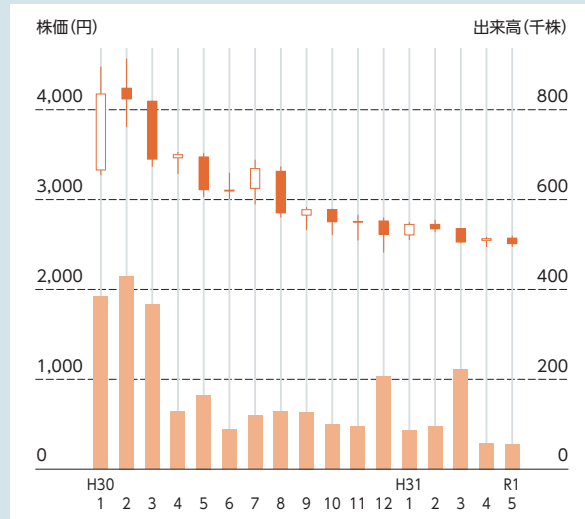
株主数 3,812名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	133	6.06
神吉利郎	100	4.54
日本製鉄株式会社	100	4.53
JFEスチール株式会社	91	4.15
株式会社奥村組	88	4.03
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	81	3.67
株式会社紀陽銀行	58	2.65
株式会社三井住友銀行	50	2.28
三井住友信託銀行株式会社	50	2.27
東海鋼材工業株式会社	48	2.22

(注)持株比率は、当事業年度の末日における発行済株式の総数より自己株式(34,492株)を控除して計算して表示しております。

株価/出来高の推移



会社概要

(令和元年6月26日現在)

社名	高田機工株式会社
創業	大正10年(1921年)6月1日
設立	昭和7年(1932年)3月1日
資本金	51億7,871万円
代表者	取締役社長 高橋 裕
事業内容	▶道路橋、鉄道橋など鋼橋の設計・製作・架設 ▶ビル建築、学校体育館など鉄骨の設計・製作・架設 ▶鋼橋上部工の床版、舗装工事、標識、防護柵などの設置工事
本社	〒556-0011 大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階) 電話(06)6649-5100(代)
東京本社	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町3番2号(Daiwa小伝馬町ビル) 電話(03)3662-3581(代)
和歌山工場	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4700(代)
技術研究所	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4971
営業所	仙台・群馬・静岡・名古屋・和歌山・広島・福岡・沖縄

役員

(令和元年6月26日現在)

代表取締役社長	高橋 裕
常務取締役執行役員	梶 義明
常務取締役執行役員	小林 雄紀
常務取締役執行役員	蔭 山 昌 弘
取締役執行役員	西 田 明
取締役執行役員	西 尾 和 彦
取締役執行役員	中 村 達 郎
社外取締役	川 谷 充 郎
執行役員	川 俣 孝 明
常勤監査役	小 野 誠 大
監査役	坂 田 友 良
社外監査役	山 中 俊 廣
社外監査役	山 本 和 人

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告(http://www.takadakiko.com/) ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部

単元未満株式の買取・買増について

単元未満(100株未満)の株式につきましては、買取または買増を請求いただくことができます。そのお手続きを希望される場合は、株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。
※特別口座に株式が記録されている場合は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

表紙写真

琴平大橋(群馬県)

工事名称:社会資本総合整備(仮称)梁瀬1号橋上部工製作架設工事

発注者:群馬県

橋梁形式:鋼方杖ラーメン橋

橋梁諸元:橋長114m 鋼重497t

高田機工株式会社

大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階)

